

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和4年3月31日

提出区分	実績	整理番号	7	課題区分	C
横断的な課題	コロナ下においても選ばれる安心・安全・持続可能な観光地域づくりを推進				
地域重点政策	<2>四季折々に訪れ、北アルプスと安曇野の自然を満喫できる観光地域づくり				北アルプス地域振興局
実施機関	北アルプス地域振興局		担当課	所属	企画振興課
事業名	北アルプスサイクルツーリズム推進事業		担当課	電話	0261-23-6501
				E-mail	kitachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp
事業の概要等	目的 (目指す姿)	北アルプス地域における自転車走行の魅力を広く全国へ発信することにより、サイクルツーリズムの取組をより加速するとともに、北アルプス地域への来訪者の増加を図る契機とする。			
	現状と課題	・当地域への観光客数は年間700万人前後の水準を維持してきたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い地域の観光業は大きな打撃を受けている。 ・そういったなかでもサイクリングは屋外で密になりにくいという特性から、ウィズコロナ、アフターコロナにおけるグリーンシーズンに適した観光メニューである。 ・また、自転車は環境に優しい乗り物としてゼロカーボン戦略を推進していくために有効なツールである。 ・当地域は美しい自然風景や起伏の多い地形から、サイクリストから注目される要素が多い。 ・サイクリストの来訪を増やすため、当地の自転車走行の情報や魅力を発信する必要がある。 ・併せて地域の人々にも自転車の活用を促進することによって、脱炭素社会に寄与する。			
	内容 (変更後の内容)	○北アルプス地域サイクリングモデルコースマップの配布 あらゆる機会を通じて、北アルプス地域サイクリングモデルコースマップを配布し、北アルプス地域の魅力を全国に発信する。 既存の日本語・英語版に加え、ウィズコロナ、アフターコロナのインバウンド需要を見据え、新たに中国語版、韓国語版のコースマップを作成し、当地域に来訪する外国人観光客の半数以上を占めるアジア地域からの観光客に対応する。 ○北アルプス地域自転車活用推進計画の周知 当地域のサイクルツーリズムを一層推進していくために、管内5市町村が共同で策定(事務局:北ア地局)する北アルプス地域自転車活用推進計画(R4.2月策定)の概要版リーフレットを作成して多くの人への周知を図る。			
事業期間	令和4年2月		～	令和4年3月	
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	サイクリングモデルコースマップの配布	中国語版マップの印刷	88,000	29,333円@3,000部	
	サイクリングモデルコースマップの配布	韓国語版マップの印刷	88,000	29,333円@3,000部	
	北アルプス地域自転車活用推進計画の周知	概要版リーフレットの印刷	50,600	25.3円@2,000部	
	合計		226,600		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	モデルコースマップのホームページ閲覧数		100件	73.5件/月	○ 達成
	計画概要版を配布する管内の事業所・施設数		24件	24件	● 一部達成
					○ 未達成
事業実績・成果	・管内5市町村が共同で策定した「北アルプス地域自転車活用推進計画」の概要版リーフレットを作成し、多くの事業所を通じて広く配布することで、一般の方への周知を図った。(2,000部) ・中国語版、韓国語版の「北アルプス地域サイクリングモデルコースマップ」を作成した。(各3,000部) アフターコロナにおいては、外国人来訪者を含め、北アルプス地域における自転車走行の魅力を広く発信していく。 ・コロナ禍が続く影響か周知不足のためか、ホームページ閲覧数が伸びなかった。 ・モデルコースマップは、特に大町市観光協会や白馬村観光局で好評で、多くの部数が配布されている。				
今後の方向性	・アフターコロナの需要増の機会を適切に捉え、魅力を発信していく。 ・全国的なサイクルイベント等について、北アルプス地域として連携した出展を検討する。				